

タタール語の参考書は日本語で出版されているものはほとんどない。本書は東京ジャーミイで2014年末に開講されたタタール語初級講座の内容を独自にまとめたものである。この講座はキリル文字ではなく、ローマ字正書法を用いて行われた。本書もそれにのっとりローマ字表記による文法記述を目指した。まとめる過程でAngelika Landmann *Tatarisch* (Harrassowitz) の内容を加えたほか、TRT Tatarなどのニュースサイトにお世話になった。

なお、本書は初学者が最初から順に勉強するというよりは、初級文法をひとつおわり終えて、その整理のために見るというニュアンスが強い。まだ導入されていない文法事項がないまぜに登場することもある。そこはご了承ください。

文字と発音【ひどい】

文法編

- | | |
|--------|--------------------|
| 第 1 課 | 母音調和・文タイプと人称一致 |
| 第 2 課 | 名詞の数・格まとめ |
| 第 3 課 | 格の周辺的な用法 |
| 第 4 課 | 属格・所属人称接辞・複合語【ひどい】 |
| 第 5 課 | 動詞まとめ・複合時制 |
| 第 6 課 | 動詞現在形 |
| 第 7 課 | 動詞 2 つの過去形 |
| 第 8 課 | 動詞未来形・超越形 |
| 第 9 課 | 可能表現・補助動詞ほか |
| 第 10 課 | 形容詞・分詞【ひどい】 |
| 第 11 課 | 動名詞 (1) |
| 第 12 課 | 動名詞 (2) |
| 第 13 課 | 動名詞 (3) |
| 第 14 課 | 間接話法 |
| 第 15 課 | 副詞【ひどい】 |
| 第 16 課 | 副動詞 |
| 第 17 課 | 後置詞的表現 |
| 第 18 課 | 指示代名詞 |
| 第 19 課 | 人称代名詞・疑問詞ほか |
| 第 20 課 | 条件・譲歩 |
| 第 21 課 | 命令・勧誘・許可など |

第 2 2 課	受身・使役・再帰・相互
第 2 3 課	派生【ひどい】
第 2 4 課	存在文・所有文【ひどい】
第 2 5 課	あいさつなど【ひどい】

文字と発音

POINTS

1 本文法で用いるラテン文字

文字	音価	文字	音価	文字	音価	文字	音価
A a	[a], [o]	Ģ ģ	[ɣ]	N n	[n]	U u	[u]
Ä ä	[ɛ]	H h	[h]	Ñ ñ	[ɲ]	Ü ü	[y]
B b	[b]	I i	[i]	O o	[o]	V v	[v]?
C c	[dʒ]	İ i	[i]	Ө ө	[ø]~[œ]	W w	[w]?
Ç ç	[tʃ]→[ʃ]	J j	[ʒ]?	P p	[p]	X x	[x]
D d	[d]	K k	[c]~[k]	R r	[r]	Y y	[j]
E e	[e]~[ə]	Q q	[q]	S s	[s]	Z z	[z]
F f	[f]	L l	[l], [ɫ]	Ş ş	[ʃ]		
G g	[ɟ]	M m	[m]	T t	[t]		

(1) 正書法により少しずつ文字や作法が異なる。前舌平唇母音を *i/e/ə* と書くか *i/e/ä* と書くか、
 エングは *ñ* かどうか、また介入子音 *w* を表記するかどうかなど、いくつか差異があるが、本書
 では母音は *i/e/ä* 式を用い、エングには *ñ* を用い、*w* は表記することにする。

2 キリル文字正書法→ラテン文字変換表

(1) ラテン文字正書法とキリル文字正書法がある。TRT Tatarも両方用意してある。辞書によ
 って多少文字の順番に前後があるが、ロシア語にある文字の順番は変わらない。

А а	a	З з	z	П п	p	Ч ч	ç
Ә ә	ä	И и	i	Р р	r	Ш ш	ş
Б б	b	Й й	y	С с	s	Щ щ	(şç)
В в	w	К к	k / q	Т т	t	Ъ ъ	*
Г г	g / ğ	Л л	l	У у	u	Ы ы	ı
Д д	d	М м	m	Ү ү	ü	Ь ь	*
Е е	ye/yı/e	Н н	n	Ф ф	f	Э э	e
Ё ё	yo	Ң ң		Х х	x	Ю ю	yü / yu
Ж ж	(c)	О о	o	Һ һ	h	Я я	yä / ya
Ж ж	c	Ө ө	ö	Ц ц	ts		

(1) このうち***は外来語のみで、タタール語固有の単語には現れない。

(2) キリル文字 *e* は *ye/yı*、または子音を伴って *eɪ* と読む。語頭の *e* には *Э* 字を用いる。

(3) 硬音符 *Ъ* 軟音符 *Ь* の使い方は後述。

3 音素目録**

Plosive	p / b	t / d	tʃ / dʒ	k / g	q	
Fricative	f / v	s / z	ʃ / ʒ		x / ɣ	h
Nasal	M	n		ŋ		
		l		ɫ		
		r		j w		

4 前舌母音と後舌母音、前舌子音と後舌子音(←全然わかってない)

(1) 母音調和によってタタール語固有の単語については母音が前後に分けられるが、子音も前後で相補分布を為すものがある。

(3) 硬音符 ь 軟音符 ъ はそれぞれ直前の子音が後舌、前舌に読まれることを示す。母音調和によって単語内の全ての母音・子音は前舌グループか後舌グループのいずれかに統一されているが、外来語はこの限りではない。キリル文字表記では、母音子音の前後のうち、かなりの部分が区別されないため、硬音符と軟音符でその区別を補っている。

(2) 軟母音のうち右の3字は前舌・後舌の区別がされていないので、キリル文字表記の辞書を引くときには特に注意。

	前	後
е	ye	yɪ
ю	yü	yu
я	yä	ya

5 注意すべき発音

(1) /ɣy/は[i:]のように発音される。

(2) 中舌母音の e/ö/ɨ/o はかなり弱化しており、実際には聞き分けにくい。

(3) タタール語固有の単語では、子音 ɟ は実際には摩擦音として現れる。もはや ʒ との違いがほとんど分らない。

(4) 第一音節で非強勢の a は[o]のように円唇化して実現する。やや喉頭化して[oʰ]とも聞こえるような気がする。

(2) 単語アクセントは基本的には、最終音節にある。

第1課

母音調和・文タイプと人称一致

/50 点

POINTS

1 母音体系

	前		後	
	非円唇	円唇	非円唇	円唇
高	i	ü		u
中	e	ö	ɪ	o
低	ä		a	

(1) e/ɪ 系列の母音調和

対格・ne/-ni、不定過去・de/-dı、受身接辞・el/-ıl、形容詞派生接辞・le/-lı など。

(2) ä/a 系列の母音調和

位置格・dä/-da、未来形・açäk/-açaq、条件形・sä/-sa、名詞派生接辞・çä/-ça など。

(3) ü/u 系列の母音調和

動名詞・ü/-u、分詞接辞・üçe/-üçü くらい？

2 母音調和の例外：外来語には基本的に後舌形をつける。

universitet-nı「大学・を」 tarix-nı「歴史・を」

3 文タイプと人称一致（暫定）

タイプ1(-min/-bez)		
	SG	PL
1	-men/-mın	-bez/-bız
2	-señ/-sıñ	-sez/-sız
3		-lär/-lar

タイプ2(-m/-k)		
	SG	PL
1	-m	-k/-q
2	-ñ	-gez/-ğız
3		-lär/-lar

タイプ3		
	SG	PL
1	-im/-ıym	-ik/-ıyq
2		-giz/-ğız
3	-sin/-sın	-sinnär/-sınnar

名詞文		タイプ1
動詞文	現在/未来/不定過去～	
	定過去	タイプ2
命令文	命令・勧誘など	タイプ3
存在文・所有文		
感嘆文など		

*ただし現在形一人称単数は-men/-mın ではなく・m

第2課

名詞の数・格まとめ

/50 点

POINTS

1 名詞と数: タタール語の名詞には数の区別がある。

(1) 複数標識は -lär/-lar と母音調和する。鼻音終わりの語では -när/-nar と鼻音同化する。

film-**när**「映画(複数)」 urın-**nar**「土地(複数)」

(2) 数詞や数量詞がついた場合、名詞に複数標識はつけない。

(3) 述部の3人称複数標識として -lar が用いられるが、必ず付くというものではないかも。

2 格の形態と用法のまとめ

	前		後		用法
主 格	なし				主語「～が」、補語、直接目的語(不特定)
属 格	-neñ		-mñ		所有など「～の」
対 格	-ne		-m		直接目的語(特定)「～を」
与 格	-gä	-kä	-ğä	-qa	間接目的語、方向「～に、～へ」
位置格	-dä	-tä	-da	-ta	場所「～で、～に」
奪 格	-dän	-tän	-dan	-tan	起点、材料「～から」
	-nän		-nan		

(1) 前舌か後舌か、また名詞語幹が有声音で終わるか、無声音で終わるかによって調和する。

(2) 奪格は鼻音 m, n, ñ に同化して -nän/-nan という形になる。

(3) 1, 2人称単数の所属人称接辞(→第4課)につくと以下のように形が変わる。

与 格 : öy「家」 öy-em「私の家」 *öy-em-gä ではなく öy-em-ä「彼(彼女)の家に」

öy-en「君の家」 *öy-eñ-gä ではなく öy-eñ-ä「彼(彼女)の家に」

(4) 3人称の所属人称接辞につくと以下のように形が変わる。

対 格: öy「家」 öy-ne「家を」 *öy-e-ne ではなく öy-e-**n**「彼(彼女)の家を」

与 格: öy「家」 öy-gä「家に」 *öy-e-gä ではなく öy-e-**nä**「彼(彼女)の家に」

位置格: öy「家」 öy-dä「家で」 *öy-e-dä ではなく öy-e-**ndä**「彼(彼女)の家で」

奪 格: öy「家」 öy-dän「家に」 *öy-e-dän ではなく öy-e-**ndän**「彼(彼女)の家から」

(5) 対格は主に目的語名詞句が特定である場合に用いられる。

第3課

格の周边的な用法

/50 点

POINTS

1 位置格

(1)

(2) 割合

här yıl 50% tiräsendä artqan「毎年50%の割合(?)で増加した」

2 与格

(1) 目的、受益者のようなもの

Äbi yärdäm**gä** äbine çağırdı.「おじいさんは、助けに(=助けてもらうために)おばあさん
呼んだ」 * -rğa 動名詞は動作主との対応がいまいち妙.: Äbi bulışır**ğa** qızın çağırdı.「お
じいさんは助けに(=助けてもらうために)娘を呼んだ」

(2) 与格をとる動詞(→第16課: 与格支配の後置詞も参照)

3 奪格

(1) 材料、原因、……

(2) 全体一部分関係:「～のうちの(ひとつ)」

in mohim tarixı urınnarın**nan** “cännät-cähännäm” çoqırları「最も有名な史跡のうちの
ひとつ、『天国と地獄』洞窟」

(3) 奪格をとる動詞(→第16課: 奪格支配の後置詞も参照)

(4) 副詞: yaña「新しい」>yaña-**dan**「新たに」

POINTS

1 属格

(1)

(2) 所属を表す -ge/-ğı/-ke/-qı はそのままでも使うが、むしろ位置格と複合した -däge/-dağı「～にある、～にいる」や属格と複合した -neke/-nıqı (< -neñ-ke/-nıñ-qı)「～のもの」が頻出。

単独: bıyl-**ğı**「今年-の」 yuğarı-**ğı**「上-の」 kiç-**ke** säğatlär「遅い時間帯」

-däge/-dağı

-neke/-nıqı: uquçı-nıqı「生徒のもの」 Xösäyen-neke「フセインのもの」: 人称代名詞はやや例外的。mineke, sineke, anıqı, bezneke, sezneke, alarnıqı

Bu дәftär **seznekeme**? Yuq, **mineke** tügel. **Uqıtuçınıqı**.「このノートはあなたのですか。いいえ、私のではありません。先生のです」

2 所有人称接辞: その名詞句の指示対象を所有するのが誰なのか、あるいは何なのか。

	単数	複数
1人称	-em/-ım/-m	-ebez/-ıbız/-bez/-bız
2人称	-eñ/-ıñ/-ñ	-egez/-ığız/-gez/-ğız
3人称	-e/-ı/-se/-sı	-läre/-ları/-näre/-narı

(1) 異形態は名詞が子音終わりか、母音終わりか、鼻音終わりかによって規則的に現れる。

cir「土地」 cir-em, cir-eñ, cir-e, cir-ebez, cir-egez, cir-läre

äni「母」 äni-m, äni-ñ, äni-se, äni-bez, äni-gez, äni-läle

film「映画」 film-em, film-eñ, film-e, film-ebez, film-egez, film-näre

(2) 所有人称接辞と格の組合せは形態が異なるので注意(→第2課)。

3 複合語

(1) 名詞・属格 名詞・所有人称接辞: これはただの所有関係。

Yaponya**nıñ** başkalası「日本の首都」

(2) 名詞 名詞・所有人称接辞: これが典型的な複合語。主要部はもちろん後者。

xalq sanı「人口」 tatar mädäniyäte「タタール人文化」 politsiya xezmätkäre「警察官」

hawa mäydanı「空港」

(3) 複合語は、意味的に同格のものを取るパターンがある。「～の」「～という」

İstanbul şähäre「イスタンブールの街」(イスタンブールという街)

[eşlärneñ ciñel räweştä başqarılıu] teläge「仕事が簡単に行われる(ように)という望み」

第 5 課

動詞まとめ・複合時制

/50 点

POINTS

1 動詞の単純時制まとめ

	前	後	用法
現在形	-ä -i	-a -ıy	現在進行「～している」 習慣
定過去形	-de -te	-dı -tı	定過去「～した」
不定過去形	-gän -kän	-ğan -qan	不定過去「～したそうだ」
未来形	-äçäk -yäçäk	-açaq -yaçaq	確定未来「～するつもりだ」
超越形	(1) 母音終わり	-r	不確定未来「～する」
	(2) 単音節子音終わり	-är/-ar	意志「～しよう、～する」
	(3) 複音節子音終わり	-er/-ır	推測「～するだろう」

2 小詞と複合時制

ide, ikän

3 複合時制の小詞は名詞文にも使われる。

第 6 課

動詞現在形

/50 点

POINTS

1 現在形

(1) 現在形は子音終わりの動詞には・ä/・a、母音終わりの動詞には(理論上)・y という形態でつく。後者の場合とくに・äy>・i、・ay>・iy という変化が起こる。

bir->bir-ä / bir-mi「与える」 köl->köl-ä / köl-mi「笑う」 yaz->yaz-a / yaz-miy「書く」
tor->tor-a / tor-miy「立つ」 eşlā->>eşl-i / eşlā-mi「働く」 aşı->aş-iy / aş-miy「食べる」
biye->biyi「踊る」 qayı->qayıy「刺繍する(?)」 töyā->töyi「供給する(?)」 buya->buyıy「描く」

(2) 現在形の用法: 現在の行為、または近い将来行われる行為、習慣など。また歴史的現在。

Bez bazarğa **barabız**.「私たちは(いつも)市場に行く」 Bez irtägä bazarğa **barabız**.「私たちは朝、市場に行く(特定時)」 Min Tuqay uramında **yäşim**.「私はトゥカイ通りに住んでいる」

第 7 課

動詞定過去形・不定過去形

/50 点

POINTS

1 定過去形-de/-dı

(1) 定過去形は-de/-dı または無声子音に同化して-te/-tı となる。人称は-m/-k 系列。

(2) 定過去形の用法: 直接体験した・直接知っている過去の出来事を表す。

2 不定過去形

(1) 不定過去形は-gän/-ğan または同化して-kän/-qan となる。人称は-min/-miz 系列。

(2) 不定過去形の用法: 間接的に見聞きしたこと「～したそうだ、～だったそうだ」など。

Bu çöqür tabiği maturlıqları arqasınnan “cännät” bularaq isemlängän.「この洞窟は自然の美しさ * * * から『天国』と名付けられた(そうだ)」

POINTS

1 未来形

(1) 未来形は-äçäk/-açaq または母音連続を嫌って-yäçäk/-yaçaq という形態をとる。

(2) 未来形の用法: 未来の予定された出来事を表す。

Uqunu tãmanlağaç, tãrcemäçe bulıp **eşläyäçäkmen**.「勉強を終えたら、私は翻訳家として働く」
Sin xäzer ni **eşläyäçäksen?**「今から何をする予定ですか」
Sez bügen eşkä **barmayaçaqsızımı?**「あなたは今日仕事に行きますか・行かねばなりませんか・行く予定ですか」

2 超越形(個人的には中立形という名称を推したいが)

(1) 母音終わりの語幹には-r とつく。例外はない。

eşlä-r「行く、仕事をする」

(2) 複音節で子音終わりの語幹には-er/-ır とつく。例外はない。

öyrän-er「学ぶ」

(3) 単音節で子音終わりの語幹には-är/-ar とつく。ただし-l/-r 終わりの語幹には-er/-ır とつく。

eç-är「飲む」

例外は äyt-er「話す」 qayt-ar/qayt-ır「帰る」 köl-är「笑う」 bül-är「分ける」 tül-ır/tül-ar「完全になる?」など。

(4) 1人称の否定形は-mas-mım/-mas-bız ではなく特別に-mam/-mabız という形態をとる。

(5) 超越形の用法: 起きるか分からない、確定していない未来＝意志、推測などのモダリティ。

Bälki irtägä koyaşlı kön **bulır**.「たぶん明日は晴れた日になるだろう」
Bälki **bulır**, belki **bulmas**.「ありえるかもしれないし、そうではないかもしれない」
Min ikmäk satın alırğa **onıtmam**.「私はパンを買うのを忘れない」

POINTS

1 可能表現

(1) -ä/-a al-「得る」。広く使える。

Min tatarça añlıym, läkin irken söyläşä **almıym**.「タタール語は分かるが速く喋れない」

(2) -ä/-a bel-「知る」: 習得した能力を言う。能力可能のみか。

Sin gitara uynıy **beläsezme?**「君はギターを弾けるかい」 Maşına yörtä **beläsezme?**「車運転できるかい」 Qoşlar kişi telendä söyläşä **belsä**, qızıq bulır ide.「鳥が人の言葉を喋ることができたなら、面白いのに」

(3) -p bul-「いる、ある」: 詳しいことは不明。可能のほか許可表現にも。

2 起動相、継続相、完了相など

(1) 起動相: -ä yaz-, -p cibär-, -p/-ä başla-; totın-, -rğa kereş-「～し始める」

Cirebezne kürgäç tä, babay yılap **cibärde**.「私たちの土地を見ると、おじいさんは(突然)泣きだした」 Min tatar telen öyränä **başladım**.「私はタタール語を勉強し始めた」

(2) 継続相: -p yat-, -p tor-, qal-, -p utır-「～し続ける」

Qar aslarında orlıqlar öşep **yata**.「雪の下で種は凍え続ける」

(3) 完了相: -p kit-, al-, töş-, quy-, qal-, taşla-, at-, sal-, bir-, cit-, çıq-

(4) -ä/-a bar-「行く」: 「徐々に～していく」という相。

Hava üzgärä **bara**.「天気が変わりつつある」* üzgär-「変化する」

3 その他

(1)

(2)

(3)

(うまくまとまっていない)

POINTS

1 形容詞: とくに名詞に合わせて曲用したりしない。

(1)

(2) 量化詞

(3) 副詞として用いることもできる。

(4) 名詞として用いることもできる。英語の the young みたいに。

(5) -le/-lı による形容詞派生: 「～のある・～を持つ」。⇔ -sez/-sız 「～のない」

2 比較

(1) 比較級は -rāk/-raq で、最上級は iñ... を用いる。比較対象は奪格で表す。ただし、比較級は「より～」というか、単に強調「とても～」で使われていることもあるっぽい。

küp 「多い」 kübrāk 「より多い」 iñ küp 「最も多い」

naçar 「悪い」 naçarraq 「より悪い」 iñ naçar 「最も悪い」

Tağın da kübrāk beläsem kilä. 「もっとたくさん知りたい」 Yaxşı süz baldan tath. 「良い言葉はハチミツより甘い」 * 比較対象があれば比較級 -raq は任意。

(2) 単純な強調には bik 「とても」

Yaponiyada beysbol **bik** popülär. 「日本では野球がとても人気です」

3 分詞 * * *

(1) -ğan/-gän/-qan/-kän: 関係節を作る。経験用法も大事。

Äytkānegez döres bulıp çıqtı. 「あなたたちの言ったことが正しいとわかった」

Tatar awıllarında **bulğanım bar**. 「タタールの村にいたことがある」 (→ 第17課)

コピュラと複合し ikän という形になる。

(2) -maqça/-mäkçä:

POINTS

1 動詞の語幹と-ü/-u/-w 動名詞「～すること」

(1) 本書では動詞を語幹で示すが、辞書には-ü/-u/-w 動名詞形あるいは-ergä/-ırğa 動名詞形で載せられる。母音連続が生じる場合-w とも書かれる。

bar- > bar-**u**「行くこと」 kil- > kil-**ü**「来ること」 qayt- > qayt-**u**「帰ること」

kit- > kit-**ü**「行くこと」 bel- > bel-**ü**「知ること」 aša- > aša-**u**/aša-**w**「食べること」

yasa- > yasa-**u**/yasa-**w**「作ること」 çirlä- > çirlä-**ü**/çirlä-**w**「病気になること」

(2) 中母音 e/ı は次のように削除されたりする。

uqı- > uq-**u**「読むこと」 yöre- > yör-**ü**「行くこと、走ること」 biye- > bi-**yü**「踊ること」

(3) -ü/-u/-w 動名詞の用法: 出来事の名詞化。Yaña maşına **satıp alu** turında uylym.「新車を買うことについて考えている」 Qoyaş **çıǵu** belän tordık.「私は日の出とともに起きた」 Avtobuslar **yörmäw** säbäple lektsiyägä soñğa qaldım.「バスが動かなかったので講義に遅れた」

(4) 所有人称接辞をつけて主語を表現できるが、子音終わりの語につくような特殊なふるまいをするので注意。正書法により(?)、tanış-u-ı-bız-ğa と貫入子音を書かない派がある。

Tanışuwıbızğa şat buldım.「知りあえてうれしいです」 Min sezne **kürüwemä** bik şat.

「あなたに会えてとてもうれしい」 **Çaqrıwıǵız** öçen räxmät.「呼んでくれてありがとう」

Min eştän **qaytuğa**, abıym öydä idä.「私が仕事から帰ると、兄が家にいた」

(5) 目的語として: añla-「分かる、気づく」 bel-「知っている」 köt-「待つ」 kür-「見る」 siz-「述べる(?)」 sora-「尋ねる」 üten-「お願いする」; Anıñ cit il keşese bulın **añladım**.「彼が外国人であることに気付いた(私は)」 Miña yardım itüyegezne **ütenäm**.「私を助けてください」 (→第14課)

2 -üçe/-uçı: 上の-ü/-u 形に派生接辞-çe/-çı のついたもの。超越形に対応する関係節をつくる。

qoriç qoy**uçı** eşçe「鉄を鑄造する仕事人」

また、動作主名詞を派生する接辞としても用いられる。

ül**üçelär** häm yaralan**uçılar**「死者および負傷者」 yört**üçe**「運転手」

第 12 課 動名詞(2)

/50 点

POINTS

1 -r/-er/-ır; -mäs/-mas: 超越形と同形。

(1) 後置詞的表現: başlan**ır aldınnan**「始まる前に」 cırçı bul**ır öčen**「歌手になるために」

2 -rgä/-rğa/-ergä/-ırğa; -mäskä/-masqa: 上の与格形。この形を載せる辞書も。

(1) 「～するために」: 目的・目標を表すためによく用いられる。

su qoyın**ırğa** baru「泳ぎに行く」 yoqlar**ğa** yatu「寝る(眠るために横になる)」 şäxärgä bar**ırğa** waqıt citmi「町へ行くには時間が足りない」 Sen bezgä qaya bar**ırğa** kiñäş birer idegez? 「私たちにどこに行けば良いかアドバイスしてくれませんか」

(2) とくに次のフレーズは重要である。

Sezgä ber sorau bir**ergä mömkinme**? 「質問してもよいですか」

-ergä bulamı? 「～していいですか」

Törki tellär öyrän**ergä telim**. 「私はトルコ系言語が勉強したい」

Sport belän şöğillän**ergä (kiräk)**. 「スポーツをする必要がある」

* kiräk は省略可能。Nişlärgä? 「何をすれば？」

-ergä toreş. 「」

Här keşe üzeneñ sälämätlegen saqlar**ğa tiyeş**. 「だれでも自分の健康を保つべきである」

Min soñğa qal**masqa tırışam**. 「以後遅刻しないようにします」

(3) たとえば次の動詞は特に与格形-ırğa/-ergä をとる。

qurq- 「～するのが怖い・を怖がる」

onıt- 「～するのを忘れる」

öyrän- 「～することを学ぶ」

uyl- 「～しように思う」

yarat- 「～するのが好きだ」

(4) 「～するか(どうか)」といった間接疑問文を作ることができる。

Nişlä**rgä** belmim. 「何をすればよいか分からない」 Universitetnı tämamlağaç, kaya bar**ırğa** uylhysñ? 「大学を卒業した時、どこに行くか考えているかい」

第 13 課 動名詞(3)

/50 点

POINTS

1 -gän/-ğan: 過去。この形は、文終止以外では、伝聞や推測の意味を持たない。

(1) 過去～現在を表す関係節として。人称標識はつかない。

min äyt**kän** süz「私が言った言葉」 Balkan illärendä yaşäg**än** möselmannar「バルカン諸国に住むムスリムたち」

(2) 文の名詞化。(要出典)

(3) よく使う表現。

Bu süze, ber keşene qarşı { al**ğan waqıtta** / al**ğanda** } äytelä.「この言葉は、誰かに会ったときに言われる」 -ğannan son~「～したあとで」

2 -äçäk/-açaq: 未来

3 -äse/-ası: 未来と、願望としても用いられる(→第XX課)。現在形と同じような形態的ふるまいを示す。

kil**äse** insan「来るだろう人」 söyliy**se** süzem「言うつもり私の言葉(?)」 uqıy**sı** kitabım「読むつもり私の本」 eşlän**äse** iş「為されるべき仕事」 kil**äse** yıl「来年」 bar**ası** yul「行くべき道」

4 -ä/a/y torğan:

第 14 課 間接話法

/50 点

POINTS

1 直接話法

引用表現 dip「～と」を用いて表現する。

2 平叙文: 現在は -u/-ü 形動名詞。過去は -ğan/-gän 形動名詞。動名詞節主語は属格で出るはずだが、詳しいことは不明。

Matbuğat [zilzilädä ülüçelär bulmawın] beldergän. 「メディアは地震で死者はいないと伝えた」 [Törek telendä bik yaxşı söyläşüemne] äytte. 「私がトルコ語をととても上手に話すと言った(彼は)」

3 疑問文(質問): 疑問詞疑問文は平叙文と同様。決定疑問文は -up -maw「～であるかどうか」という冗長的な動名詞を使う。

[Qaydan kılıemne] soradı. 「私がどこから来たのか尋ねた(彼は)」 [Taksi aççasının küpme bulun] sorıy. 「タクシーの料金がいくらか尋ねる」 [Ber keşelek bülmaneñ bulıp bulmawın] soradı. 「一人用の部屋があるか尋ねた」

4 命令文(命令、依頼): まだ実現していないことに言及する -u/-ü 動名詞を用いる。命令は * *、依頼は sora-「尋ねる」や üten-「頼む」などが利用できる。

Yörtüçedän [mine qunaqخانägä iltüen] soradım. 「運転手に、私をホテルに連れていくよう頼んだ(私は)」 Xezmätkär [blankı tutıruın] ütende. 「従業員は(客に)空欄を埋めるよう頼んだ」

* 時制の一致についてはくわしく調べていない。

第 15 課 副詞

/50 点

POINTS

1 副詞

- (1) 時間: xäzer「今」 öçençe kön「一昨日」 kiçä「昨日」 bügen「今日」 irtägä「明日」 berseköngä「明後日」
- (2) 場所: uñda「右で」 sulda「左で」 eçtä「中で」 tışta「外で」 yuğarıda「上で」 tübändä「下で」 alda「前で」 artta「後ろで」
- (3) 頻度など: härvaqıt「いつも」 ğadättä「いつも」 siräk「たまに、ほとんど…しない」 gel「絶えず」 yaqında「すぐに」 irtä「速く」 soñ「遅く」
- Qunaqlarını **siräk** çağırabız.「私たちはお客をほとんど呼びません」
- (4) モダリティ: älbättä「もちろん」 şulay, alay「そう(?)」 qızğanıçqa qarşı「残念ながら」 bälki「たぶん、おそらく」 paxätlänep, şatlanıp「喜んで」 buşqa「無駄に(?)」
- (5) アスペクト副詞: まだ、もう
- xaman da「まだ」 Şalqan **xaman da** çıqmıy.「かぶはまだまだ抜けません」

2 副詞的表現

- (1) 様態表現: qanunsız yullar belän「違法な手段によって」 ... räweşle「～という状態で」
- (2) 理由表現: Kadir Kiçäse säbäbe belän「カディル・ゲジェスイという理由で」

POINTS

1 副動詞

(1) -ä/-a/-y: 現在形と同形、というか副動詞形が現在形として使われるようになった。独立用法は、二回繰り返して同時動作「～しながら」のみ。補助動詞については→第9課。

Balalar aşığa-aşığa öydän çıqtılar.「子供たちは急いで(=急ぎながら)家を出た」 Kiç buyı, kölä-kölä, televizor qaradıq.「夜中、笑いながらテレビを見た(私たちは)」

(2) -p/-ep/-ıp: 「～して」: 直後に häm, dä を補って様々な文脈を補填することができる。-ä/-a/-y 形の同時動作「～しながら」の機能を担うこともある。補助動詞については→第9課。

Min kibetkä kerep (**häm**) ikmäk aldım.「私は店に入ってパンを買った」 Kibetkä kerep **tä** ikmäk almadım.「店に入ったが、パンを買わなかった」 Torıp, yuwınıp, kiyenep, irtänge aşnı aşap kildem.「起きて、体を洗って、着替えて、朝食を食べて来た」 Balalar bik aşığ**ıp** öydän çıqtılar.「子供たちはとても急いで家を出た」

特殊: bulıp「～として」 Uqıtuçı **bulıp** eşlim.「教師として働いている(私は)」

(3) -miçä/-mıyça: 「～しないで」「～することなく」 -mästän/-mastan: 同様?

Balalar aşıq**mıyça** öydän çıqtılar.「子供たちはあわてずに家を出た」 Kullarıñnı yum**ıyça**, aşarğa utırma.「手を洗わずに、食卓につくな」 Yañğır kiçädän birle tuqt**mıyça** / tuqt**mastan** yawa.「雨が昨日から止むことなく降っている」

(4) -gäç/-ğaç: 継起「～したとき」「～すると」 -gäç kenä/-ğaç qına「～してはじめて」

Arı**ğaç** yal ittem.「疲れたので休憩した(私は)」 Açıq äyt**käç** añlaşıldı.「良く説明したら理解された」 Üzen kür**mägäç** berni dä äytä almıym.「彼を見てみないと何とも言えない」

(5) -gändä/-ğanda: 「～したとき」「～すると」

tısqa çıq**qanda**「外に出たとき、外に出ると」 Sez kil**gändä** aşıy idek.「あなたが来たとき、私たちはご飯を食べていた」 Anı kür**gändä** säläm birdem.「彼を見て(見たので)あいさつした(私は)」

(6) -gänçe/-ğançı: 「～するまで」「～するまでに」「～する前に」「～する代わりに」

Anla**ğançı** uqıdım.「分かるまで読んだ(私は)」 Anın kilgänen kötep tor**ğançı**, üzem barıp qaytam.「彼が来るのを待ち続けるより、自分で行ってこよう(私は)」 tan at**qançı**「夜が明けるまで」 Kinoğa bar**ğançı**, kontsertqa bardıq.「映画に行く代わりに、劇場に行った(私たちは)」

POINTS

1 主格支配

turında「～について」 belän「～で、～と、～と一緒に」 öçen「～のために、～なので」 sayın「～ごとに」 kebek/şikelle/sıman/tösle「～のように」 aşa/arqılı「～を通じて、～経由で」

Bu kitap tatar tarixı **turında**.「この本はタタールの歴史について(の本)だ」 Min monda poyezd **belän** kildem.「私はここに電車で来た」 Bu räsemle süzlek balalar **öçen**.「このイラスト入り辞書は子供向けだ」 Min kön **sayın** kitap uqıym.「私は毎日本を読む」 Tatarstanğa İstambul **arqılı** qaytam.「タタールスタンにイスタンブール経由で帰っている」 Balalar uram **aşa** uzalar.「子供たちは道路を通して渡る」 Ul tatarça Tatarlar **kebek** söyläşä.「彼はタタール人のようにタタール語を喋る」 Bäbi **şikelle** yılama!「赤ちゃんみたいに泣くな」 Ul yeget artist **sıman**.「あの若者は芸術家みたいだ」 Sin dä minem **tösle** şayartuçan.「君も私みたいに冗談が好きなんだね」

genä/ğına/kenä/qına: (1)「～だけ」(2) 形容詞などの副詞化のような機能。

min **genä**「私だけ」 Yalğız **ğına** ğomer uzdırğan.「一人きりで人生を過ごした」

2 与格支配

-ğa qadär/xätle/çaqlı「(時間・場所)まで」 -ğa qarağanda「～に比べて」(→比較級) -ğa qaramastan「～にも関わらず」 -ğa qarşı「～に対し」 -ğa kürä「～によって、～に応じて」 -ğa taba「～の方に」

yäxşämbe(**gä**) **qadär**「日曜日まで」* 与格は任意らしい? Qazan Älmätkä **qarağanda** zurraq.「カザンはエルメトに比べて大きい」 Davılğa **qaramastan** teploxod belän kildek.「嵐だったが船で来た」 Sezda Anginağa **qarşı** daru barmı?「あなたはアングナに対する薬を持っていますか」 Min sezne sağındım, **şuña kürä** kildem.「私はあなたにあこがれて、それで来た」 Maşına voqzalğa **taba** borıldı.「車が駅の方角に曲がった」

3 奪格支配

-dan soñ「～のあとに」 -dan birle「～から・～のあいだ」 -dan başqa「～の他に」 -dan alıp/başlap「(時間)から」 -dan artıq「～以上の」 -dan elek/alda「～のあとに」

Därestän **soñ** öygä qaytam.「授業の後は家に帰る」 Kiçädän **birle** tamaq töbem awırta.「昨日から喉が痛い」 Dürt aydan **birle** tatarça öyränäm.「4か月のあいだタタール語を勉強している」 Minnän **başqa** kem belä?「彼は私の他に誰を知っているんだ」 May ayınнан **alıp** Avğust ayına **kadär** Tatarstanda buldıq.「5月から8月までタタールスタンにいた」 Qazanda millionнан **artıq** keşe yaşı.「カザンには100万人以上住んでいる」 Min sezdan **elek** tordım.「私はあなたより後に起きた」

第 18 課 代名詞まとめ

/50 点

POINTS

1 指示代名詞・ダイクシス表現: 同形で形容詞としても用いられる。

	主格	対格	位置格	与格	属格	...
これ(すぐ近く)	bu	monı	monda	moña	monıñ	...
これ(近く・既出)	şuşı	şuşını	şuşında	şuşıña	şuşınıñ	...
あれ(遠く)	tege	tegene	tegendä	tegeña	tegeneñ	...
それ(遠く・既出)	şul	şunı	şunda	şuña	şunıñ	...
それ・あれ(遠く・一般)	ul	anı	anda	aña	anıñ	...

(1) **änä**「ほら、それ」 **menä**「ほら、これ」は注意喚起(Demonstrativpronomina)で、änä tege や menä bu のように複合できる: Menä, Mansur kilä.「ほら、マンスルが来たよ」 Änä, minem avtobusım kilä.「ほら、バスが来たよ」 Menä bu kitap kemneke?「この本誰の？」

(2) 副詞形: şundiý「そのように、そういう」 mondiý「このように、こういう」 andıy「あのよ
うに、ああいう」

(3) 修飾用法と区別する際にはダッシュを入れるらしい: bu abıyım「この私の兄」に対して、
Bu – abıyım.「こちら私の兄です」

2 指示代名詞の用法

* 難しい。文脈指示用法ではトルコ語と逆に、şul 系列が前を、bu 系列が後を指すような感じ。

POINTS

1 人称代名詞・ダイクシス表現

	主格	対格	位置格	与格	奪格	属格
1sg	min	mine	mindä	miña	minnän	minem
2sg	sin	sine	sindä	siña	sinnän	sineñ
3sg	ul	anı	anda	aña	annan	anıñ
1pl	bez	bezne	bezdä	bezgä	bezdän	bezneñ
2pl	sez	sezne	sezdä	sezgä	sezdän	sezneñ
3pl	alar	alarmı	alarda	alarğa	alardan	alarmıñ

(1) 3人称代名詞は指示代名詞と同形。(2) 2人称複数は丁寧な2人称「あなた・あなたたち」としても用いられる。(3) タタール語においては名詞はそのまま場所として扱われる: Minem kitabım sindäme?「私の本は君のところに(×君に)ありますか」

2 疑問代名詞・疑問副詞

kem「誰」 qaya「どこに」 qaydan「どこから」 qayda「どこで」 qayçan「いつ」
närsä「何(名詞)」 nindi「どのような(形容詞)」 niçäk「どのように(副詞)」
küpmä「いくら」

3 不定代名詞: 疑問代名詞からの派生。

(1) ber-系列: berkem dä「一人も」 bernärsä dä (=berni)「一つも」……

Sıynıfta **berkem dä** qıtayça söyläşmi.「クラスでは一人も中国語を話せない」 Ul anıñ turında **bernärsä dä** belmi.「彼はそれについて一つも知らない」 Bu sorawğa **berniçäk tä** cawap **birä** almadıq.「この質問に全く答えられなかった」

*berär närsä のようなのはこれの変種？

(2) hiç-系列: hiçkim「誰も」 hiçnärsä「何も」……

Därestä uquçı aña **hiçnindi** soraw birmäde.「授業では生徒は彼に一つも質問しなかった」 Kiçä bez **hiçqaya** barmadıq.「昨日私たちはどこにも行かなかった」 Dustum **hiçqayçan** çit ildä bulmadı.「私の友人は一度も外国に行ったことがない」

(3) -der 系列: kemder「誰か」 närsäder「何か」……

Kitabımın **kemder** alğan.「私の本を誰かがとった」 Bez bu keşe belän **qayçandır** ber uramda yäşägänbez ikän.「私たちはこの人と、いつか同じ街に住んでいたそうだ」

(4) ällä 系列: ällä kem「誰か」 ällä närsä「何か」…… *ällä「または」

(5) kem dä bulsa「誰でも」 närsä dä bulsa「何でも」 qayçan da bulsa「いつでも」……

POINTS

1 条件の接尾辞

(1) 条件は動詞語幹に-sä/-sa をつける。名詞・形容詞述語では bul-をはさみ bul-sa とする。帰結節は超越形も現在形も用いられる。条件表現はほとんどこれで、用法が広い。・m/-k 系列。

kil->kil-**sä**「来れば」kil-mä-**sä**「来なければ」

Sin **kilsän**, bez kinoga barırbız.「君が来るなら、私たちは映画に行く」 Kön **salqın bulsa**, min kibetkə barmam.「寒ければ私は店に行かない」 İkmäk kibetenä **kersäñ**, öçpoçmaq belän kruvassan al äle.「パン屋に入るなら、三角パイとクロワッサンを買ってきて」

(2) 非現実の仮定(いわゆる反実仮想)を明示するには過去 idä を用いる。

Sez urmağa **barsağız**, min dä sezneñ belän **barır idäm**.「君たちが森に行くんだったら、私も一緒に行ったのに」

(3) 条件形+小詞 da で「……であったが・であっても」を表す(逆接・譲歩)。

Şaxmat uynarğa öyränergä ciñel **bulsa da**, yaxşı uynarğa öyränüe bik qıyın.「チェスをプレーできるようになるのが簡単だとしても、うまくプレーできるようになるのは難しい」 Qoyaşlı kön **bulsa da**, urmağa barmadıq.「晴れた日だったが、私たちは森に行かなかった」 Gärçä anda **tumasam da**, min biraz torğan idem.「そこで生まれてはいないが、私は少しだけそこに住んでいたのだ」

(4) これまでの例からも分かる通り、条件形は単純に因果関係を表すような、条件とは離れた用法も持っている。ちょうど日本語の「～すると」のような。

Täräzägä kağıla. Kem bu ikän **disäm**, cil ikän.「窓が叩かれた。誰ですかと問うと、それは風であった」 Min öydän **çıksam**, taksi kilgän ikän.「私が家から出ると、タクシーが来ていた」

(5) Qunaqlarımız bügen **kilsä kiräk**.「私たちのお客が今日来るはずだ」

(6) 条件形の言いさしで提案・丁寧な要求を表す: Täräzäne **açsağız**...「窓を開けて頂ければ(ありがたいのですが)」この用法の下地には「～するとよい」のような評価的な形容詞とともに用いる用法があるのではないかと思う。

第 21 課

命令・勧誘・許可など

150 点

POINTS

1

命令形(命令・勧誘)

	単数	複数	意味
1	-im/-ıym	-ik/-ıyq	意志「～しよう」；勧誘「～しましょう」
2	-	-giz/-ğız	命令・祈願「～しろ、～してください」
3	-sin/-sın	-sinnär/-sınnar	命令・祈願「～させろ、～しますように」

(1) 勧誘形も命令形のパラダイムにまとめる立場をとる。

(2) 3人称命令形「～させろ・～してほしい・～しますように(=祈願)」が存在する。

(3)

(4) やわらげる手法としては、接辞-çe/-çı をつける、接語 äle をつける、など。

2

意志: 分詞-mäkçä/-maqça: 迂言的表現: -ası- kilä, -rğa telä-: 人称の位置に注意。

Säwdägär **bulmaqçı** idem.「私は商人になりたかった」 **Yoqlamaqçı** idem.「私は寝たかった」

Minem yoqlıysım kilä. = Min yoqlarğa telim.「私は寝たい」

* 多分前者は「～したくなる」だと思うが、未確認。

3

必要: -rğa kiräk, -rğa tiyeş, -ası- bar.: 意味上の主語、人称の位置に注意。

Miña aşarğa kiräk. = Min aşarğa tiyeş. = Minem aşıysım bar.「私は食べないといけない」

(練り不足)

POINTS

1 受身 töşem yünäleşe = 自動詞化接辞と同形

(1) 語幹が子音終わりなら -el/-ıl、母音終わりなら -l となる。ただし l 終わりなら -en/-ın となる。

aç- > aç-ıl- 「開かれる」 yap- > yab-ıl- 「閉じられる」

uqı- > uqı-l- 「読まれる」 yasa- > yasa-l- 「作られる」

al- > al-ın- 「取られる」 bel- > bel-en- 「知られる」

başla- > başla-n- 「始められる」 äzerlä- > äzerlä-n- 「準備される」

Qazan universiteti 1804-nçe yılda **açılğan**. 「カザン大学は1804年に設立された」 Tokyo maçete 1938-nçe yılda **tözelgän**. 「東京モスクは1938年に設立された」

(2) 受身の動作主は taraf 「側」を用いて...nın tarafınnan 「～の側から」などと表現する。

2 使役 yökletüw yünäleşe = 他動詞接辞と同形

(1) 生産的な接辞1: 基本的には -der/-dır/-ter/-tır という形式を用いる。

sün- 「消える」 sünder- 「消す」 tuz- 「古くなる」 tuzdır- 「古くする」 kip- 「乾く」 kipter- 「乾かす」 qıs- 「詰まる(?)」 qıstır- 「詰め込む」

(2) 語幹が -t で終わるものには -ker/-qır や -kär/-qar がつくらしい。

cit- citker- üt- ütkär- yat- yatqır-

(3) 複音節で、母音または -y/-ı/-r で終わる語幹には -t がつく。

tuqta- tuqtat- azay- azayt- yuğal- yuğalt- çistar- çistart-

äçe- 「発酵する」 äçet- 「発酵させる」 yoqla- 「寝る」 yoqlat- 「寝させる」 ker- 「入る」 kert- 「入れる、差し込む」 yasa- 「つくる」 yasat- 「つくらせる」 uqı- 「勉強する」 uqıt- 「勉強させる」

(4) いくつかの語彙には -gez/-ğız/-kez/-qız や -er/-ır などの形式も残っている。

bel- 「知る」 belgez- 「知らせる」 kiy- 「着る」 kiygez- 「着せる」 tor- 「起きる」 torgız- 「起こす」

cit- 「届く」 citkez- 「運ぶ」 yat- 「横になる」 yatqız- 「横にする、倒す」

öy- 「重なる」 öyer- 「重ねる」 peş- 「調理される」 peşer- 「調理する」 töş- 「落ちる」 töşer- 「落とす、降ろす」 küç- 「移動する」 küçer- 「移動させる」 bet- 「終わる」 beter- 「終わらせる」

3 再帰、相互

(1)

第 23 課	派生	/50 点
POINTS 1 存 2 所		

第 24 課 存在文・所有文

/50 点

POINTS

1 存在文

(1) bar「ある」、yuq「ない」

(2) 義務「～しないといけない」は・äse/-ası 動名詞とつくる。(→第13課)

Minem eşliysem **bar**.「私は働かないといけない」

(3) 経験「～したことがある」は-gän/-ğan 動名詞とつくる。(→第14課)

Minem eşlägänem **yuq**.「私は働いたことがない」

2 所有文

(1) (属格+) 所有物 + bar/yuq

Däftäreñez **barmı**?「ノートは持っていますか(←あなたのノートはありますか)」 Däftärem **yuq**.「ノートは持っていません(←私のノートはありません)」 Şirkätneñ bar dönyada 118 meñ eşçese **bar**.「(その)企業は全世界に11万8000人の従業員を抱えている」

第 25 課 あいさつなど

/50 点

POINTS

1 あいさつ

İsänmesez.「こんにちは」 İsänme.「こんにちは(親しい間)」 Säläm.「やあ、どうも」
Xäyerle irtä.「おはようございます」 Xäyerle kön.「こんにちは」 Xäyerle kiç.「こんばんは」
Tanış bulıyq.「はじめまして」 Tanışuwıbızğa şat buldım.「お会いできて光栄です」
Xälläregez niçek?「お元気ですか」—Yaxşı/Äybät/Şap/Yarıysı.「元気です」 Naçar.「よくないです」
Yaxşı tügel./ Äybät tügel.「よくないです」
Räxmät./ İsän bul/bulıǵız.「ありがとう」 Sezgä dä zur räxmät.「あなたに感謝します」
Berni tügel.「どういたしまして」
Ğafu itegez./ Ğafu ütenäm.「申し訳ございません」 Ğafu it.「すみません、ごめんなさい」
Saw bulıǵız./ İsän bulıǵız.「さようなら」 Saw bul./ İsän bul.「さようなら(親しい間)」
Xuş kildeǵez.「ようこそ」

2 あいさつ(逆引き)

Räxmät「感謝」は「ありがとう」
İsän「安全な」で İsänmesez.「安全か」 İsän bul.「安全であれ」>「ありがとう・さようなら」
Saw「健康」

文法まとめ

A. 動詞接辞の形態と機能について(暫定版)

	文終止	体言	連体修飾	連用修飾
-A	～している、～する	×	×	(～しながら)
-DI	～した	×	×	×
-AçAK	～するつもりだ	～するつもりであること	～するつमोर ～するような	×
-ĜAn	～した(らしい)	～したこと	～した	×
-r	～する	(○)	(○)	×
-UçI	×	(○) ～する者(動作主名詞)	～する	×
-U	×	～すること(出来事名詞)	×	×
-mAKçA	～したい	×	×	×
-rĜA	×	～すること	×	～するために
-AsI	?	～するだろうこと ～せねばならぬこと	～するだろう ～せねばならぬ	?
-p	×	×	×	～して (～しながら)
-mIçA	×	×	×	～しないで
-Ĝaç	×	×	×	～したとき
-ĜAnçI	×	×	×	～するまで(に) ～する前に ～する代わりに
-sA	～できたら(なあ)	×	×	～すれば ～したら

曜日、月、時間

20nçe iyul「7月20日」

12 säğat tirälärendä「12時ごろ？」

Äfganstan アフガニスタン Albaniya アルバニア Angliya ? Ärmänstan アルメニア Awraziya ユー
ラシア ? Awrupa Berlege ヨーロッパ連合 (EU) Awstriya オーストリア Azärbaycan アゼルバイジャ
ン Belgiya ベルギー Bolgariya ブルガリア Bosniya-Gertsegovina ボスニア・ヘルツェゴビナ
Efiofiya エチオピア ? Frantsiya フランス Gretsia ギリシア Gruziya グルジア Ğıraq イラク
Hollandiya オランダ ? İndoneziya インドネシア İran イラン İtaliya イタリア İzrail イスラエル
Kanada カナダ Kipr キプロス Kolumbiya コロンビア Makedoniya マケドニア Mısır エジプト
Nigeriyä ナイジェリア Qırğızstan キルギス Qıtay 中国 Rusiya ロシア Serbiya セルビア Süriyä シ
リア Tayland タイ Törekmänstan トルクメニスタン Törkiyä トルコ Ukraina ウクライナ Yämän イ
エメン

動詞

形態別: 動詞変化の確認に

	前		後	
母音終わり	-i eşlä-働く -ä	-ü -ö	-ı aşa-食べる cırta-歌う	tu-生まれる -o
子音終わり	kil-来る eç-飲む -äC	kür-見る yör-歩く -ü -ö	çık-出る yaz-書く yalğış-間違える yarat-愛する	bul-ある、いる tor-立つ -u -o

語学用語

cömlä「文」 fiğıl「動詞」 belder-「示す、表す」 awaz ? tamır ? nigez ? östälep yasal-「??し
て形成される」

tartıq「子音」 quşımça「接辞」

zaman「時制」 xäzerge zaman forması「現在時制形」 bilgele ütkän zaman「定過去時制」
bilgesez ütkän zaman「不定過去時制」 kiläçäk zaman「未来時制」

ämer cömläläre「命令文」 soraw cömläläre「疑問文」

zat almaşlığı「人称代名詞」 işarät almaşlığı「指示代名詞」 soraw almaşlığı「疑問代名詞」

berlek「単数」 küplek「複数」 barlıq「肯定？」 yuqluq「否定」